

エンゲージメント向上プログラム

「Canomy」のご案内

ヒュートレックス株式会社

個の自律的なキャリア形成が組織の成長を支える時代に

職業生活の長期化

DX化

職業需要の両極化

- マクロ経済指標の低迷、少子高齢化への適応、デジタル化とChatGPTに代表されるAIの活用などの産業構造の転換に適応していくためには、ビジネスパーソンはこれまで以上に**能力やスキルを絶えず更新**していくことが求められます。
- 産業構造の転換は労働市場の流動化を加速。内閣府もまた「基本方針2023」の中で未来への人材投資を掲げ、ジョブ型の雇用慣行を奨励する方針を掲げています。組織はこれまで以上に**労働市場から選ばれる存在**となるためには、**個人と組織の相互依存の関係**を確立し、**個別性を重視した人材育成とキャリア実現の機会を提供**する必要があります。
- その意味で従業員の「**キャリア自律**」は、個人の問題ではなく組織の問題でもあります。組織が主体となってキャリア自律を支援する取り組みは、従業員の**エンゲージメントとモチベーションの向上**を図り、組織業績への**貢献の最大化**が期待できる人材開発施策なのです。

キャリア自律とは？

自分の職業生活に対して自分自身で意思決定し、自己管理する能力。

自分の職務の方向性、目標、スキルの習得、仕事のスケジュール、および職場での行動に対して責任を持ち、制御すること。

大谷翔平のすごさ

高校1年の時に書いた
目標シート

大谷翔平の目標

体のケア	カリキョウ	FSQ 90kg	心身の改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールを打てる	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	外野手の安定	コントロール	バウンドをなくす	力まない	キレ	併身主導
スタミナ	可動域	野球杯 朝3杯	下肢の強化	体を開かぬ	バウンドコントロールをする	ボールを 前でリリース	回転を戻す	可動域
出き出した 明確なもの	喜ばない	現生冷静 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ひたすら 強い	メンタル	毎朝 5km走	メンタル	大リーグ 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩関節の強化
道を ずらさぬ	勝利への 執念	仲間を 思いやる	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチボール	ピッチング を増やす
感性	愛の人間性	計画性	お金の	上手い	部屋を片	アウトボール を増やす	フォーク完成	ライナー のキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に使う	運	審判への 態度	遅く差の あつカーブ	変化球	打者への 打球
礼儀	挨拶の人間性	継続力	下を思考	人懐ける 人間になる	本を読む	スピードと フォームを 教える	ライナーから ボールに 変えるコントロール	打撃を イメージ

大谷翔平のすごさ

筋力トレーニング、ランニング
基礎練習→実践練習 食生活



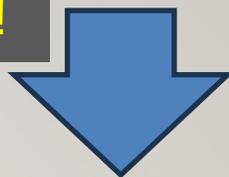
×



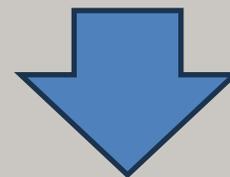
思考する力

=言語化する力

ビジネスパーソンも一緒!



基本業務の徹底 仕事の工夫
創造的経験の積み重ね(成功体験、失敗体験)
新しい知識の獲得、資格や技能の取得
健康を支える生活習慣の形成



ライフプラン、キャリアプランを持つ

- ↳ 自分は何者なのかを知る
- ↳ セルフケア、セルフモチベートする
- ↳ 情熱を燃やし続ける

Canomyとは、個別性を重視するキャリア開発プログラム

専門家との1 on 1による
キャリアコンサルティング

×

個別内省
プログラム

リーダーシップやマネジメント
に関して知見を持つ
人材開発専門の
キャリアコンサルタントが
担当いたします

キャリアコンサルティング マップ



Canomyは
組織が主体。個人の
キャリア開発に
特化したプログラム

セルフキャリアドック
の領域

組織主体

ライフイベントに伴う…
・ 出産/育児
・ 介護/看護
・ 治療/療養
等の両立支援

Canomy

転身支援

転職支援

就職支援

外発的
(環境適応)

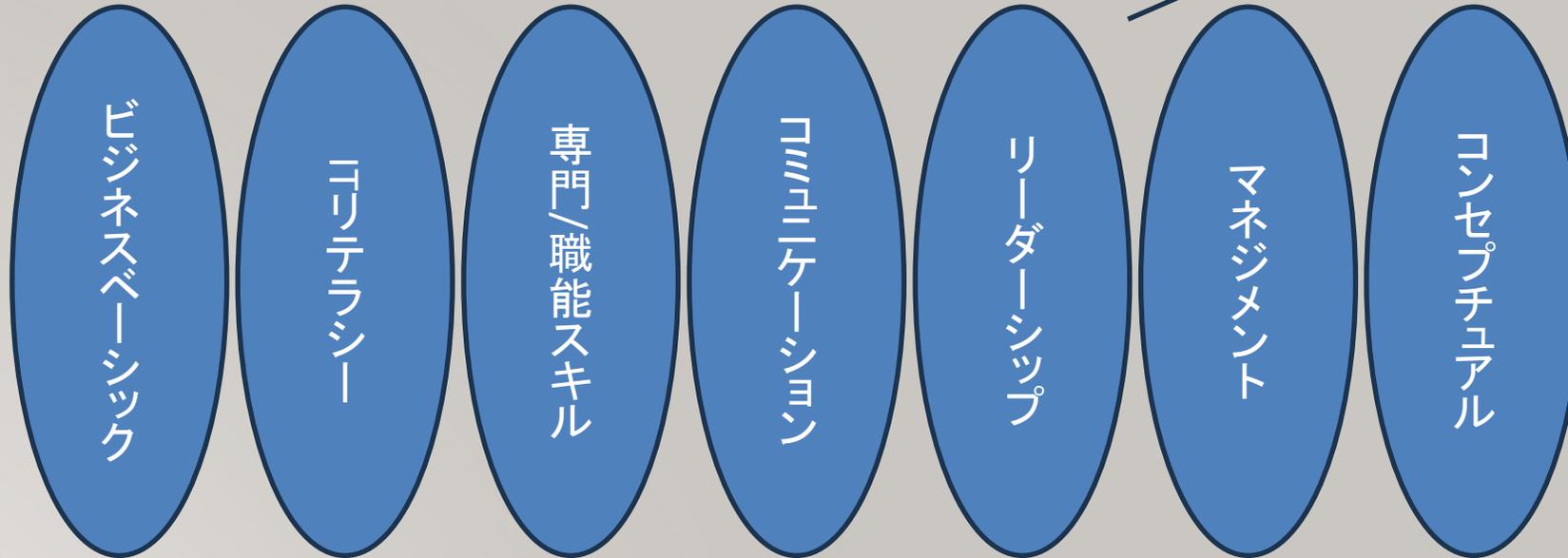
内発的
(自己実現)

就労支援センターや
キャリアセンター等
の領域

個人主体

キャリア自律は人材開発の礎

能力開発は
本人がテーマを
選定し獲得する



Canomyは
成長の土台

キャリア意識

自己概念

キャリア実践力

環境適応力

キャリア開発力

情熱形成

キャリア自律の因子

Canomyの概要

キャリア自律の6因子を定量スコア化！

Phase1 → Phase2 → Phase3 → Phase4

事前準備
1

キャリアアンカー
1次診断

事前準備
2

キャリアヒストリー分析
キャリアアンカー診断

事前準備
3

期待役割
の明確化

事前準備
4

キャリアプラン
の具体化

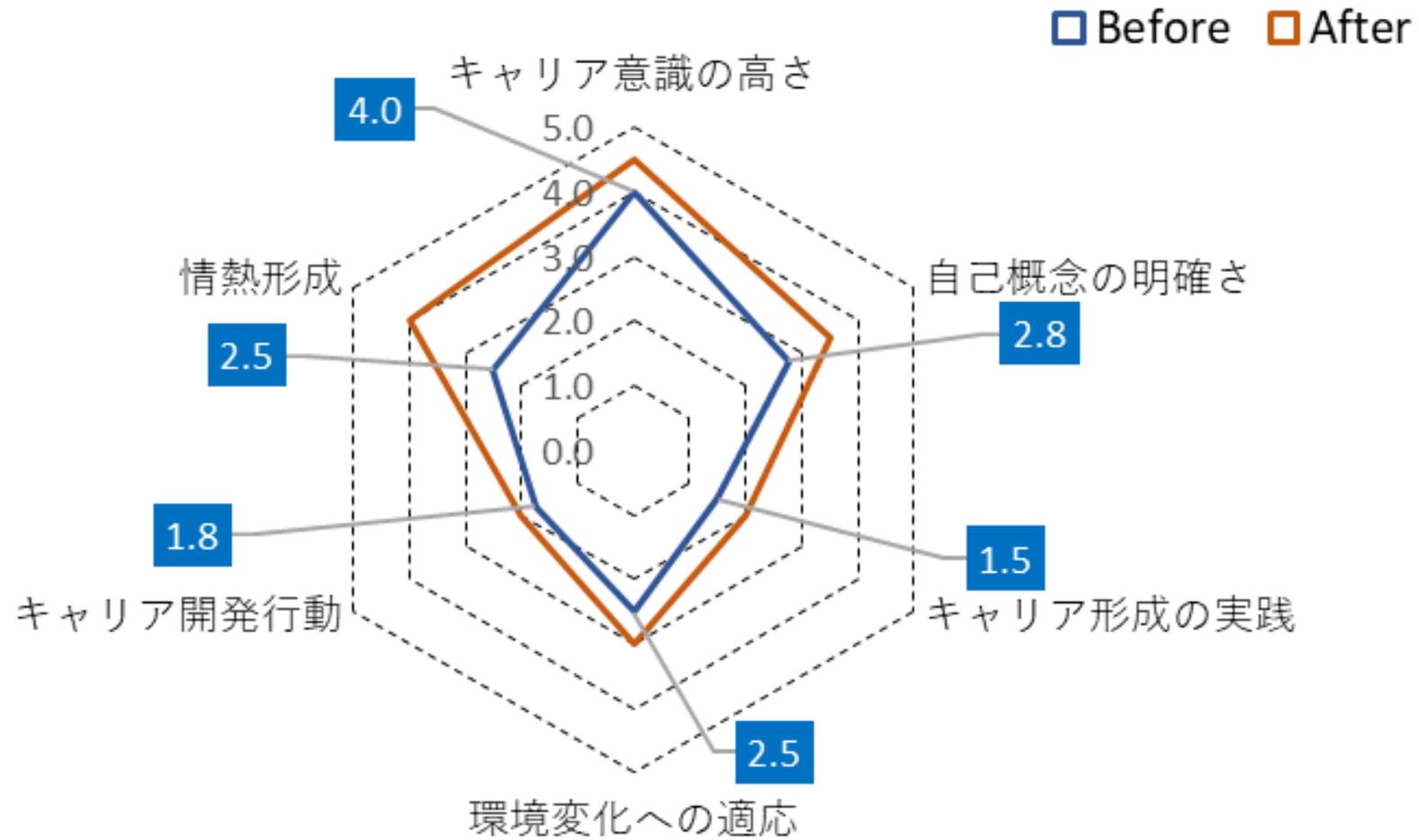
- ・ガイダンス_キャリア自律とは？
- ・キャリア自律度診断
- ・キャリアアンカー自己診断

- ・ステークホルダーの選定
- ・期待役割インタビューの実施
→自分に向けられている期待
役割を明確にする

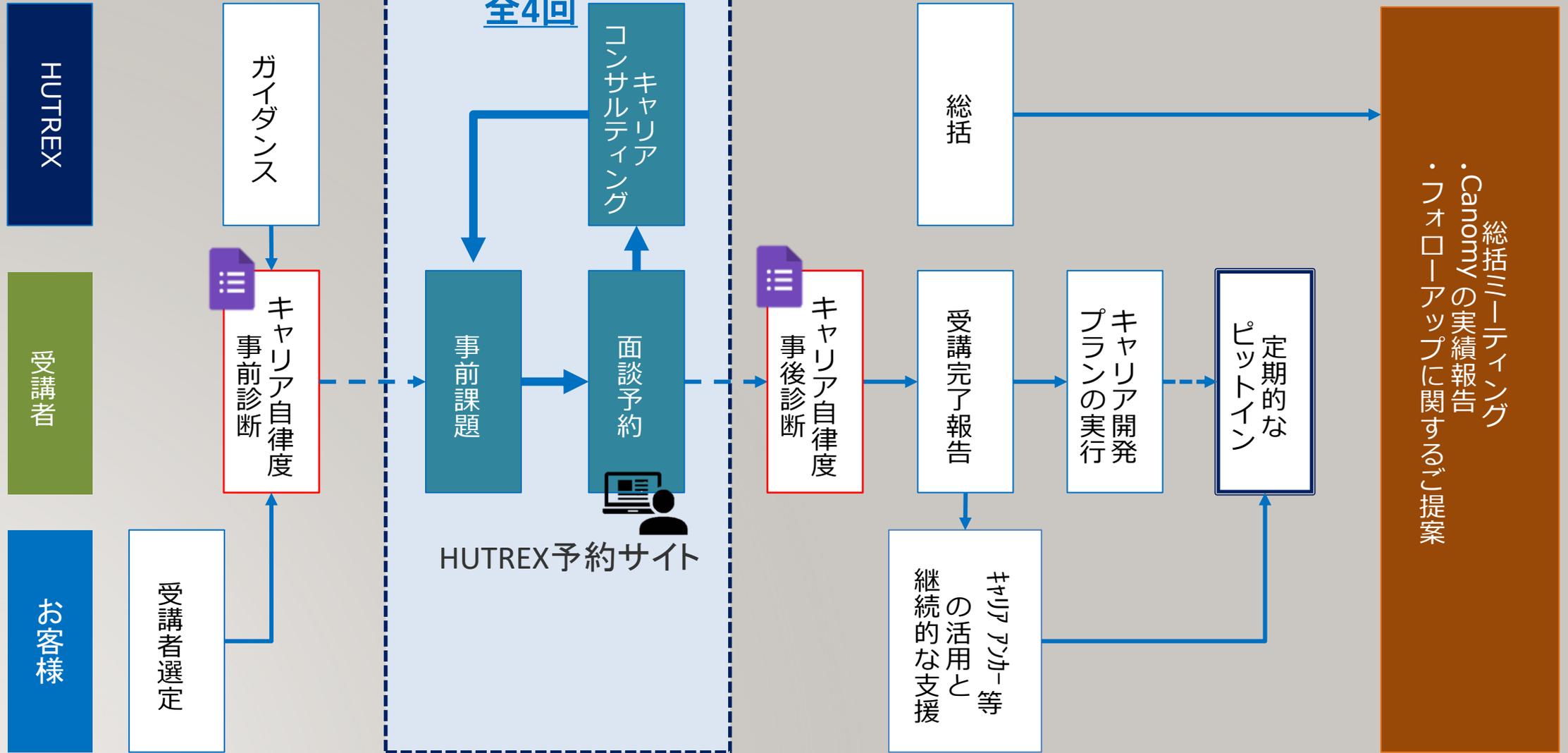
- ・キャリア体験記の棚卸
→Phase2ではインタビューによ
り強みやキャリアアンカーの
根拠を探ります

- ・キャリアプランニング
→キャリアアンカー×期待役割を整理する
→習慣化およびキャリア形成に
向けた実行計画立案

キャリア自律スコア



進め方



スケジュールと留意点

◆実施期間：1か月程度

※全4回(各回1時間)を概ね1か月間

※受講者の皆さまには事前課題への対応をお願いすることになります

◆守秘義務の尊重

Canomyは一般的な相談窓口としてのキャリアカウンセリングとは一線を画し、組織主導の人材開発施策です。CCによるアウトプット*1は人的資本情報であることから受講者が許す限り人事部門ならびに所属長への情報開示を奨励します。

しかしながらキャリアコンサルタントとしての守秘義務は免れないため、受講者の意思を尊重した対応をいたします。但し、メンタル不全やハラスメント等コンプライアンスに抵触する事実が確認できた場合はこの限りではありません。

*1_キャリア自律診断結果、キャリア・アンカー、受講者が自覚したリーダーシップ開発課題、キャリア開発プランなど

◆留意点

Canomyは当該組織における自律的キャリア形成の実現を目的に据えているため、受講者の転職や転身等の相談には応じません。個人と組織がWin-Winの関係となるためにいかに“サバイブ”するか、その一点に向かうための支援に特化します。

